

第 1 5 期 事 業 報 告 書

令 和 7 年 度

令和7年 4月 1日から

令和8年 3月31日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団
東京都千代田区九段南三丁目2番7号

目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 7

I 事 業 の 状 況

1. 概 況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体及び一般の方々の協力を得て、総額89,897,000円の募金を行った。
- (2) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (3) 研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、J-DOPPS調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）、褒賞、雑誌発行、CKD（慢性腎臓病）対策推進などの事業は、順調に遂行され、事業費は総額251,642,831円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修において、インターネットを使用したオンデマンド配信において講義を行い、また実習研修を行った。
- (5) 日本腎臓財団各賞の受賞者座談会記録を作成した。
- (6) CKD（慢性腎臓病）医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) J-DOPPSにおいては、第8期調査3年目を開始した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 48を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 72、VOL. 73を発行した。
- (10) 「CKD予防のための市民公開セミナー」をオンライン及び対面で開催した。
- (11) 令和7年10月、厚生労働省、大阪府などが行った臓器移植普及推進月間行事、臓器移植推進国民大会に主催として協力した。
- (12) 総事業費支出に対する助成金支出率は18.8%である。
期末基本財産は934,560,395円である。

2. 募 金 状 況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体及び一般の方々の協力を得て総額89,897,000円の募金を行った。

3. 賛 助 会 員

- (1) 令和8年3月末の会員数は830会員（943口）となり、内訳は次の通りである。
 - 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口 50,000円）
特別会員b（5～9口） 3会員（ 16口）
一般会員（1～4口） 644会員（697口）
 - 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口 25,000円）
一般会員（1～4口） 53会員（ 62口）
 - 3) 個人会員 個人（1口 10,000円）
特別会員b（5～9口） 5会員（ 25口）
一般会員（1～4口） 125会員（143口）

(2) 令和7年4月～令和8年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 2会員(2口)

一般会員 (1～4口)

東 京・ 医療法人社団 豊済会 境南クリニック

静 岡・ 医療法人社団 悠和会 やまぎし腎クリニック (団体B会員から
変更)

2) 団体B会員 該当無し

3) 個人会員 5会員(6口)

一般会員 (1～4口)

北海道・ 堤 瑞枝

東 京・ 井上 節

神奈川・ 塩田 文夫

神奈川・ 秋草 達夫

石 川・ M.T.

4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が
実施する研究・調査活動等を支援するための助成

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、
研究課題及び研究会、学会に対して45,089,000円の助成を行った。

(1) 研究助成 6案件 22,670,000円

1) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会

東京女子医科大学・新田 孝作 1,700,000円

2) 腎不全研究会

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 腎臓内科学・山縣 邦弘 1,100,000円

3) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会

医療法人社団 靱生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・
佐中 孜 500,000円

4) 電解水透析研究会

聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明 1,900,000円

5) 兵庫慢性腎臓病対策研究会

兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学・倉賀野 隆裕 500,000円

6) 腎泌尿器癌研究会

東京女子医科大学 泌尿器科・高木 敏男 16,970,000円

(2) 学会助成

6 案件 22,419,000 円

- 1) 日本CKD-MBD学会 学術集会・総会
(第9回) 昭和医科大学横浜市北部病院 内科腎臓・
緒方 浩顕 570,000円
- 2) 日本透析クリアランスギャップ研究会学術集会
(第19回) 医療法人 翠悠会 翠悠会診療所・本宮 康樹 218,000円
- 3) 北日本小児科学会
(第76回) 旭川医科大学 小児科学講座・高橋 悟 1,168,000円
- 4) 日本腎臓学会西部学術大会
(第55回) 奈良県立医科大学 腎臓内科学・鶴屋 和彦 8,265,000円
- 5) 西日本泌尿器科学会総会
(第77回) 高知大学 医学部 泌尿器科学講座・井上 啓史 11,676,000円
- 6) 日本サイコネフロロジー学会学術集会・総会
(第37回) 医療法人社団 クレド さとうクリニック・
佐藤 純彦 522,000円

5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、CKD（慢性腎臓病）病態研究助成として、「CKD病態に関する研究」における「臨床的研究」に対する研究助成

令和7年10月22日、オンラインにて開催した選考委員会に於いて、応募者29名のうち次の9名に対して総額5,000,000円の助成を決定した。

- ・東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 西 裕志
- ・大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 松井 功
- ・日本大学医学部内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野 小林 洋輝
- ・九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学（第二内科） 植木 研次
- ・大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座（泌尿器科学） 川村 正隆
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院 泌尿器科 武藤 智
- ・東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 佐々木 峻也
- ・島根大学医学部 内科学講座 内科学第一 金崎 啓造
- ・国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 腎臓内科 片桐 大輔

6. 調査研究事業

腎疾患さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究 J-DOPPS（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）第8期調査の実施

- (1) 令和7年12月よりJ-DOPPS第8期調査3年目に入った。

(2) 研究計画書に基づき、研究参加施設より透析登録調査、患者背景調査、患者経過調査、研究実施責任医師調査等のデータ収集を継続した。

(3) 令和7年6月29日、第70回日本透析医学会学術集会・総会にてDOPPSシンポジウムを大阪国際会議場 12階「特別会議場」に於いて開催し、参加者は196名であった。

(4) ステアリング委員会

開催年月日・開催方法	議 案
令和7年7月28日 オンラインにて開催	・ J-DOPPS CLIP 2024 論文化支援グループ担当SCの選任 ・ J-DOPPS (第8期調査) 研究計画書 一部改訂 ・ 協賛企業によるJ-DOPPS研究に関する申請の審議 (4件)
令和7年10月8日 オンラインにて開催	・ 第71回JSDT DOPPSシンポジウム プログラムについて ・ J-DOPPS CLIP 2025 募集要項について ・ 協賛企業によるJ-DOPPS研究に関する申請の審議 (3件)
令和8年3月24日 オンラインにて開催	・ J-DOPPS9にかかるARとの会議について ・ 協賛企業によるJ-DOPPS研究に関する申請の審議 (3件)

(5) 研究論文作成支援プロジェクト J-DOPPS CLIP

1) J-DOPPS CLIP 2021

採択された2名のうち、1名の論文が掲載済み、1名は論文投稿中である。

- ・ 福島県立医科大学大学院 医学研究科 臨床疫学分野 西脇 宏樹
- ・ 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 本多 佑

2) J-DOPPS CLIP 2023

採択された3名は論文執筆中である。

- ・ 新潟大学 保健管理センター 佐藤 弘恵
- ・ 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科学 中川 洋佑
- ・ 東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 日高 尚子

3) J-DOPPS CLIP 2024

令和7年5月28日、オンラインにてRQ採択会議を開催し、応募総数6件のうち、次の1名のリサーチクエストを採択した。

- ・ 名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 岡崎 雅樹

4) J-DOPPS CLIP 2025

令和7年12月1日から令和8年1月31日までリサーチクエストの募集を行った。

- (6) 財団ホームページにて、J-DOPPSの集計データDOPPS PRACTICE MONITOR (DPM)を公開した。

7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者に対する透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すための研修の実施

- (1) 令和7年8月1日～10月31日の期間中、インターネットを使用したオンデマンド配信にて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師、理学療法士を対象に集中講義を行った。実習希望者には、全国173の実習施設指定施設において、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は860名、そのうち実習修了者171名に対し、修了証書を交付した。
- (2) 令和7年10月21日、オンラインにて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、令和7年度の報告と令和8年度の企画立案を行った。

8. 褒賞事業

腎臓学に関する注目すべき業績に対しての褒賞

- (1) 令和7年10月16日、オンラインにて褒賞選考委員会を開催し、令和8年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の3名の表彰を決定した。

日本腎臓財団賞	川 口 良 人（東京慈恵会医科大学 客員教授）
学 術 賞	酒 井 謙（東邦大学 教授）
学 術 賞	土 井 研 人（東京大学大学院 教授）

また、功労賞は次の1名の表彰を財団運営会議にて決定した。

功 勞 賞	内 田 明 子（医療法人社団クレド さとうクリニック 総括部長）
-------	-------------------------------------

令和8年2月27日、LEVEL XXI東京會館に於いて令和8年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

- (2) 令和7年10月3日、オンラインにて令和7年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会録を雑誌「腎臓」VOL. 48に収録した。

9. 雑誌発行事業

- (1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究の情報などを掲載した雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎臓」VOL. 48を4,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和7年9月11日、オンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 48及び今後の企画について話し合った。

(2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん及びご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症等、日々の治療・生活に役立つ雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 72を34,000部、VOL. 73を33,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和7年10月31日、オンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 73及び今後の企画について話し合った。
- 3) 令和8年1月27日、オンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 74及び今後の企画について話し合った。

10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業

(1) CKDセミナー

- 1) 令和7年2月24日に実施したCKDセミナーオンライン「慢性腎臓病（CKD）ってどんな病気？知って、元気に！あなたの腎臓」の採録を朝日新聞（全国版、令和7年5月31日付）及び朝日新聞デジタルに掲載した。
- 2) 令和8年2月23日、CKDセミナーオンライン「慢性腎臓病（CKD）ってどんな病気？知って、元気に！あなたの腎臓」を朝日新聞社スタジオに於いてオンライン配信により開催し、参加者は971名であった。
- 3) 令和8年3月22日、CKDセミナーin東京「知っておきたい！慢性腎臓病（CKD）」を有楽町朝日ホールに於いて開催し、参加者は642名であった。

- (2) 慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「CKDをご存じですか？～腎臓を護ることは命を守ることです」を9,000部作成し、賛助会員や自治体及び各地で開催されるCKD関連セミナーに無償で配布した。

11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、臓器移植を推進するための協力

令和7年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月26日、大阪市中心公会堂にて開かれた第26回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、大阪府、日本臓器移植ネットワークと共に主催として協力した。

Ⅱ 処 務 の 状 況

1. 役員に関する事項

(1) 役 員

令和8年3月31日現在（50音順）

会 長	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社 会長
理 事 長	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所 所長
理 事	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
理 事	岩 崎 賢 二	日本空港ビルデング株式会社 取締役監査等委員
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人 顧問
理 事	小 林 修 三	医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院 院長
理 事	櫻 井 達	元みずほ証券株式会社 常務執行役員
理 事	関 本 昌 吾	株式会社加賀田組 取締役会長
理 事	平 田 純 生	日本腎臓病薬物療法学会 監事
理 事	八木澤 隆	自治医科大学 名誉教授
理 事	山 本 裕 康	学校法人慈恵大学 常務理事
監 事	大 塚 美智子	公認会計士、大塚公認会計士事務所 所長
監 事	衣 笠 えり子	昭和医科大学 名誉教授

(2) 役員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第40回理事会 令和7年5月16日 LEVEL XXI 東京會館 ゴールドルーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 特定費用準備資金変更承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 令和6年度(自 令和6年4月1日 から 至 令和7年3月31日)事業 報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 評議員会の日時、場所及び目的 である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	4. 顧問選任の件	原案どおり 満場一致で可決
第41回理事会 令和7年6月17日 LEVEL XXI 東京會館 オリオンルーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 代表理事並びに業務執行理事選定の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員選定委員会委員1名選任の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 運営会議について(内規)一部 改訂承認の件	原案どおり 満場一致で可決
第42回理事会 令和8年2月27日 LEVEL XXI 東京會館 スタールーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 令和8年度(自 令和8年4月1日 から 至 令和9年3月31日)事業 計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的 である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 特定費用準備資金等取扱規程、運営 会議取扱規程、印章取扱規程一部 改訂承認の件、講演会・セミナー・ 原稿執筆・座談会等謝金規程制定 承認の件	原案どおり 満場一致で可決

2. 評議員に関する事項

(1) 評 議 員

令和8年3月31日現在（50音順）

安 西 尚 彦	千葉大学大学院医学研究院薬理学 教授
安 藤 亮 一	医療法人社団石川記念会 顧問
石 井 保 夫	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 腎センター外科 部長
伊 藤 秀 一	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学 主任教授
稲 熊 大 城	藤田医科大学ばんだね病院 副院長
内 田 明 子	医療法人社団クレドさとうクリニック 総括部長
大 谷 はるみ	公認会計士、大谷公認会計士事務所 所長
鎌 田 直 博	医療法人社団大誠会サンシャインM&Dクリニック
菊 地 勘	医療法人社団 豊済会 理事長
小 林 美 奈	弁護士、弁護士法人ANSWER Z
渋谷 祐 子	NTT東日本関東病院 副院長
鶴 屋 和 彦	奈良県立医科大学腎臓内科学 教授
西 慎 一	医療法人社団一陽会服部病院腎臓内科 部長
西 沢 邦 浩	日経BP総合研究所メディカル・ヘルスラボ 客員研究員
新 田 孝 作	東京女子医科大学 名誉教授
濱 野 高 行	名古屋市立大学大学院医学研究科 腎臓内科学分野 教授
本 間 崇	善仁会グループ 相談役
和 田 隆 志	国立大学法人 金沢大学長

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第32回評議員会 令和7年6月13日 LEVEL XXI 東京會館 オリオンルーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 特定費用準備資金変更承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 令和6年度(自 令和6年4月1日から 至 令和7年3月31日)事業報告及び決 算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 理事選任の件	原案どおり 満場一致で可決
第33回評議員会 令和8年2月27日 LEVEL XXI 東京會館 スタールーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 令和8年度(自 令和8年4月1日から 至 令和9年3月31日)事業計画・正味 財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決

3. 運営会議

開催年月日・場所 (開催方法)	議 案
令和7年5月16日 LEVEL XXI 東京會館 ゴールドルーム	・2～4月度月次報告 ・資産運用報告 ・第40回理事会・第32回評議員会 議案 ・その他報告
令和7年7月30日 オンラインにて開催	・5～6月度月次報告 ・資産運用報告 ・その他報告
令和7年9月17日 オンラインにて開催	・7～8月度月次報告 ・資産運用報告 ・日本腎臓財団功労賞の選考 ・その他報告
令和7年12月18日 LEVEL XXI 東京會館 アンジェ	・9～11月度月次報告・資産運用報告 ・その他報告
令和8年2月27日 LEVEL XXI 東京會館 サファイヤ	・12～1月度月次報告 ・資産運用報告 ・第42回理事会・第33回評議員会 議案 ・運営会議取扱規定一部改訂 ・その他報告

4. 助成審査委員会

開催年月日・場所 (開催方法)	議 案
令和7年5月16日 LEVEL XXI 東京會舘 ゴールドルーム	・5月度助成金交付申請審査 ・5月度助成金交付予定報告 ・成果報告及び収支報告確認
令和7年7月30日 オンラインにて開催	・3～5月度助成承認超過額審査 ・3～4月度助成金交付報告 ・6～7月度助成承認超過額審査 ・6～7月度助成金交付報告 ・成果報告及び収支報告確認
令和7年9月17日 オンラインにて開催	・8～9月度助成承認超過額審査 ・8月度助成金交付報告 ・9月度助成金交付申請審査 ・9月度助成金交付予定報告 ・成果報告及び収支報告確認
令和7年12月18日 LEVEL XXI 東京會舘 アンジェ	・12月度助成承認超過額審査 ・12月度助成金交付予定報告 ・12月度助成金交付報告 ・成果報告及び収支報告確認 ・CKD病態研究助成助成金交付予定報告
令和8年2月27日 LEVEL XXI 東京會舘 サファイヤ	・1～2月度助成承認超過額審査 ・1～2月度助成金交付報告 ・2月度助成金交付申請審査 ・成果報告及び収支報告確認

5. 資産管理運用会議

令和7年8月13日及び令和7年9月18日、オンラインにて、当財団の活動原資となる資産運用の状況及び事業費用について、幅広い検討を行った。

6. 許可・認可に関する事項

該当事項なし

7. 契約に関する事項

該当事項なし

8. 登記に関する事項

令和7年8月4日、理事の退任・就任・重任、評議員の辞任・就任及び会計監査人の重任登記を行った。

9. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

10. その他特記事項

該当事項なし

以 上

令和7年度事業報告附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。